

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成27年9月18日  
第815号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1  
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117  
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: skotoba@sado.ed.jp



気がつくとも稲刈りがもう始まっていました。あんなに暑かった日々がうそのようです。休み明け、「こんなことがあったよ」「宿題むずかしかったよ」等、子どもたちがいろいろなお話をしてくれたのが本当にうれしく楽しかったです。

2学期もまた、このような目をきらきらさせた「先生聞いて」に、たくさん出会えるようにと思います。

## 「通級指導教室」と「あすなろ教室」

金井中学校校長 金子 春人

2つの教室について、より多くの方々に理解していただきたく、ここで2つの教室について確認しておきたいと思います。

「通級指導教室」は、通常の学級に在籍していて、読むことや書くこと、聞くことなどの特定のことが苦手であることや、人とのかかわりが苦手で、上手にコミュニケーションが取りにくいなどの、困り感のある子どもに対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行い、個々の状態に応じた特別の指導（「自立活動」及び「各教科の補充指導」）を別の教室で行うものです。

今年度はより多くの子どもの状況に応じた、きめこまやかな指導ができるように、両津中学校にも同教室が開設されました。

「あすなろ教室」は、学校生活に適応しづらく困り感をもっている子どもに対して、集団生活への適応を促し、より良い学校生活が送れるように援助するためのものです。

同じ子どもが両教室を併用することもできます。両教室とも家庭と学校とが必要な情報を共有し、連絡を取り合い、子どもが安心して学べるよう努めています。

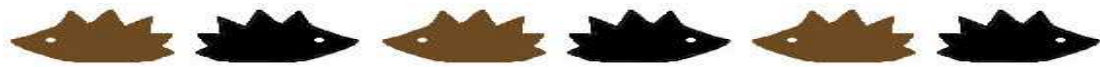
## 乗り越える必要のない壁

6月に私の祖母が98歳で亡くなりました。祖母は、骨と皮だけと言っていいほど小さく小さくなっていました。祖母は、自らの命が果てるまで生き抜いたのだと心から思いました。

その一方で、いじめなどを原因として、自ら命を絶ってしまう子どもがあとを絶ちません。『こどものこころ（原田眞理著）』という本を読んだ際、次の言葉が私の考えを一変させました。

- 発達課題のハードルは飛び越えることが必要だが、飛び越える必要のないハードルがいじめだ。
- 乗り越える必要のない壁は、乗り越えずに、避けたり、援助してもらおうなどしてよいのである。

私は、これまで友達関係で悩む子どもに、「嫌なことを乗り越えることで、心が強くなるよ」などと言うことがありました。いじめで悩む子どもには、そんな無責任な言葉よりも、助ける手立ての方が何倍も必要なのだと思直しました。子どもの表情や行動に敏感になり、自ら命を絶つ子どもを絶対に出さないよう、また、笑顔で毎日を過ごすことができる子どもを増やすよう、日々励んでいきたいと思っています。（椿）



## 第1回なかよしチャレンジを行いました

7月22日に、第1回なかよしチャレンジを行いました。今回は、畑野農村環境改善センターを会場に、総勢33名の方が参加しました。子どもたちは、4つのグループに分かれ、ジャンボジェンガやボーリング等を楽しみました。活動する中で、友達同士で協力したりコミュニケーションを取ったりする姿がたくさん見られました。

ボランティアをしてくださった伝統文化と環境福祉の専門学校の皆様、本当にお世話になりました。

## なかよしチャレンジ 参会者の感想から

- 少人数のグループで楽しく活動ができていました。活動の内容を優しく説明をしてくださった先生方、ボランティアの学生のみなさん、ありがとうございました。
- 最初は知らない人たちの中で、とても緊張してましたが、少しずつ馴染んでいったのではないかと思います。子どもが楽しめる活動だったのでよかったです。
- 普段は多くの友だちと接する機会が少ないのですが、みんなと協力してゲームを楽しんでいる姿を見ることができてよかったです。頭をつかうゲームがあったのは、良いと思いました。
- 初めて参加させていただきました。集団の中での我が子の行動を見ることができたこと、先生方の言葉がけを聞くことができたことがよかったです。ありがとうございました。
- 初めは知らない人たちばかりで不安そうでしたが、楽しそうに活動していたのでよかったです。また参加しようと思いました。

